

「組合」っていいね みんなで実感



開校講演「反貧困 立ち上がる青年たち」
山田真吾さん(首都圏青年ユニオン書記次長)



淡々と話す山田さん
秘めた熱さ感じます

榎本淳執行委員 レポート

「反貧困」の運動や非正規職員による労働運動をかいま見る中で、自分が主に携わる運動とのあり方の違いを感じることがありました。その違いについて考えた、個人的にも望んでいた今回の講演でした。

まずは、配布資料に並べられた「解決した」労働争議の多さ。どちらかというと、労働条件を切り下げられないように四苦八苦している自分達の状況から考えると、それは驚くべきことです。

そのことについて山田さんは、「闘えは勝ち取るくらいに、最低限の法律を守られていない酷い実態が広まっている」といったことを言っていました。

「とてつもない、例えば解雇が撤回された件も複数あるのだけど、それを保育現場に重ね合わせてみると、非保育現場に「普通」に見られる、非

正規職員のごとくでの「採用枠があるのに契約終了し、新たに他の人を採用」とか「正規職員採用時に、今いる非正規職員が優先されない」といったことも、該当する分会が真正面から取り組めば解決していくというところなのかな。

そしてもうひとつ驚いたのが、組合紹介のビデオ。社会運動関係の配布物や映像や音楽は、大抵がとてつもないのですが、そういったものは、撮り方も選曲も何となく、いかに使えただただも別格でした。

「無農薬の野菜で作られた美味しい料理」が並ぶ中、「無農薬の野菜で作られた美味しい料理」が出てきた、といった感じでしょうか。

後の講演でクラウンさんも、偽善的に「心なんていいから、知識とスキルを！」みたいに話していたけれど、僕も常々、広く社会運動のことを知って貰うためには、宣伝物におけるセンスの大切さを考えることが多々必要だと思っていたので、嬉しい驚きでした。(好みとは別の話です。)

分散会①～⑤ ・基礎講座 どこも充実・大好評



分散会①静岡から参加の大屋さん「組合っていいなあ」
「基礎講座デジカメ参加で知識とスキル」を身につけました!



「要求実現にむけて分散会② 刈谷ごま分会長 岩崎八十子」
今回初めて組合学校に参加しました。この10年余り私たちが組合では、要求書を出すことはもちろん自分達の働き具合について要望を理事会にぶつけることもしていませんでした。理由はいくつもありますが、要求を取りまとめないということ、は、気持ちの中に矛盾をかかえ、解消もせずにいるということにつながっていました。

皆さんの分会での話を聞いて、要求することは自分達の権利だけを主張するのではなく、自分達が生き生きと働くことにつながる、それが子どもにとっても、園にとってもプラスにはたらくのだということを確認しました。

ひとつひとつの要求の根拠を私たちが抑え今年に要求書作りをしていきたいと思えます。

「集まれ!給食担当者」分散会⑤ ぼんぼる保育園 石橋栄子

「はじめの一步」
私がこの分散会をやりたいと思ったのは、以前組合学校に参加したときに、仕事上の悩みを話し合っても保育者とは仕事内容が違うので深く分り合えない物足りなさを感じたからです。

「そっだ!給食担当者の分散会があればいい!」そう思って、今年、執行委員会へ提案させてもらいました。事前にアンケートを集めて、資料を準備することで、

閉校講演「ホスピタル・クラウン 病院に笑いを届ける道化師」
大棟耕介さん(NPO法人日本ホスピタル・クラウン協理理事長)



酒井恭子支部長 レポート

5年前、新款グリフェスでクラウンに出会ってから、彼ら「フレスジャーB」の公演を楽しみにしています。入院している子どもたちにも笑顔を届ける「ホスピタルクラウン」も、大棟さんの著書などで知っていました。なんととしてでも、直接、話が聴きたかった。

聴くことができて本当に嬉しかったです。

規制されがちな病院で子どもたちが子どもらしくあれる、そんな時間を提供しているホスピタルクラウンの活動については、大棟さんの著書『ホスピタルクラウン』を読んでください。書ききれませんが(笑)。



「しゃべり場」分散会③は深い交流で大満足

小規模連の給食部会に参加している給食担当者に協力を得ることを伝え、OKとなった時は本当に嬉しかったです!執行委員の三富さんも給食担当者なので、アンケートの項目作りや集約などの協力も得られてとても助かりました。

当日は、アンケートを集約してつくった「給食担当者労働条件一覧」を見ながら、給与等級の違いや事務時間のとり方を中心に話し合いました。

一時保育・子育てセンター・休日保育など、いろいろの事業に各園が取り組み忙しくなってきました。しかし私たちは、保育運動や夏祭り等の事業活動も頑張っているのにC等級。今年3年目の保育士と7年目の自分と同じ給与という矛盾などが出されました。

また、事務時間は園によって保障されているところとそうでないところがあり、我園のように時間内でできず、勤務時間を過ぎてから発注業務や伝票計算をしているところもあります。

「生活にゆとりがないと他人を幸せにすることなどできない」「いろんな体験をするから」「いろんなことに合わせられる」「従業員内でいい挨拶、いい関係ができていけば、そこから自然と客に対してもいい接客ができる」「長く続けていくことが大事。続ける中で気負いすぎないで楽しんでいこうよ」という言葉が響きました。

大棟さんの言葉のひとつひとつが、私たちがへのエールのように聞こえました。立場は違っても、私たちの仕事はつながっているように感じます。私もいつか、クラウンになりたい。

今回、組合学校で、この大棟さんをぜひ呼んで欲しいと支部交流会のときに声をあげてくれた酒井さん。北守支部で呼びかけたけど、お金の問題もあるし、何より地本みんなに聞けるかと思うからと提案。連絡をくれて段取りもしてくれました。参加者全員が大感謝です!

「病休者を出さないための職場づくり」分散会④ 執行委員 安藤実花

分散会担当の兼子執行委員と職対部で用意した資料を用い、メンタル不全について読み合わせしました。その中の「メンタル不全の人とどう付き合っていくのか」というところに、「同僚は治療者ではない」とありました。その基本を理解をした上で、「同僚は過度に萎縮することなく、温かい目で見守りつつ、職場の改善に目を向けるほうが生産的」とありました。

その後、職場のコミュニケーションでの悩みが出され、意見交流をしました。関係づくりをするためにも、仕事をしていくためにもコミュニケーションは大切だと改めて感じました。保育・福祉職場は、いろいろな人と関わる仕事で、労働状況も過酷でありストレスが溜まりやすい。そんな中でストレスを溜めない環境をつくるのが大切だと感じました。ストレスを溜めないために、話せる仲間がいる、というのはとても大切なことだと思いました。

盛り上がりすぎだろっ!の夕食交流会 顧問の講演・ビンゴゲーム・右脳老化度チェック!

ディズニーチケットは誰の手に?!



司会進行お疲れ様
2人の息はぴったりでした



平出顧問語る話...

